

菊陽町復興まちづくり計画（案）に対する意見募集（住民懇談会）の結果及び町の考え方について

菊陽町復興まちづくり計画（案）に対する意見募集（住民懇談会）については、町民の皆様から貴重な御意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。御意見に対する町の考え方をとりまとめましたので、公表します。

御意見の一部については、主旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

1 意見を募集した期間

平成29年11月13日（月）～11月21日（火）

- ・ 11月13日（月） <菊陽西小学校区> 三里木町民センター
- ・ 11月15日（水） <武蔵ヶ丘北小学校区> 西部町民センター
- ・ 11月16日（木） <菊陽北小学校区> ふれあいの森研修センター
- ・ 11月17日（金） <菊陽中部小学校区> 菊陽町役場
- ・ 11月20日（月） <菊陽南小学校区> 南部町民センター
- ・ 11月21日（火） <武蔵ヶ丘小学校区> 光の森町民センター

2 意見の提出状況

- (1) 参加人数 81人
- (2) 意見の件数 58件

3 提出された意見に対する町の対応内容の件数

(対応内訳)

対応	内容	件数
①	ご意見を踏まえて案の修正等を検討するもの	12
②	既にご意見の趣旨・考え方を盛り込んでいるもの	5
③	計画案の考え方を説明しご理解いただくもの	19
④	地域防災計画等で検討するもの	9
⑤	ご意見として承り、今後参考とするもの	13

4 意見の概要及び町の考え方

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
1. 町役場を中心とした防災拠点の形成			
	① 防災拠点の形成		
1	<p>東部の町役場周辺に防災拠点を作るとあるが、今一番人口が増えているのは町の西部である。災害時に道路が分断された場合、町役場に行くのは困難であり、町役場が被災した場合の事も考え、町の西部にも災害対策本部を補完するような機能を持たせるべきでは。</p>	<p>災害対策本部は、災害対応の指揮命令や情報収集を行うという性格上役場に設置することとなりますが、ご指摘のとおり西部地区において人口が急増したことから西部地区における防災対策も急務となっています。</p> <p>役場に準ずる公的施設である西部支所を持っていることから、光の森町民センターは西部地区の避難拠点であると考えています。本計画においては、先の熊本地震での避難所運営の経験を踏まえ、(仮称)光の森多目的広場の防災機能を強化することにより、更なる災害対応の充実を図りたいと考えています。</p>	②
2	<p>人口の問題からか、西部地区に重点を置いているように見える。いつ次の地震や台風が来るかわからないなかで、東側にも注力しているような代案も示してほしい。</p>	<p>ご要望についてはしっかりと受け止めながら、実現していきたいと考えており、東部地区を軽視していることは全くございません。</p> <p>町の西部と東部では、地域特性や整備済みの施設が異なるため、まちづくりの方向性も異なってきます。高齢化が進行している状況や地域によって家族の状況が変化していることを踏まえながら必要な対策をしっかりと取り組んでいきたいと思っています。</p>	③
2. 各小学校区を基本とした地域避難拠点の形成			
	②-1 中央公民館の復旧		
	②-2 町民体育館の復旧		
3	<p>町民体育館は被災前から天井が低く使い勝手が悪い。なぜ改築ではなく復旧なのか。お金がかかるが将来のことも考えて改築した方がよいのでは。</p>	<p>ご指摘のとおり、本計画にも中央公民館と町民体育館の建て替えに言及しておりますが、早く運動をしたいとの声が数多く上がっているため、早期復旧が必要と判断しているところです。</p> <p>一方で、以前から(仮称)総合体育館を求める請願が上がっており、互いの機能や規模、財源等の検討を進め、実現させたいと考えています。</p>	①

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
	②-3 指定避難所の機能強化		
	②-4 福祉避難所の機能強化		
	②-5 指定避難所以外の避難可能な施設の機能強化		
4	今回の地震で公民館の活用はかなりあったが、実際には避難所として使えない公民館が多かった。復興まちづくり計画の中で公民館はどのように位置づけられているのか。	熊本地震の際には、耐震性や老朽化の不安があったことから、自主避難所として開設しなかった公民館があることは承知しています。	①
5	住んでいるところに身近な公民館の耐震・耐久や水食料などの備蓄をするなどしっかりやっておけば、指定避難所まで行かなくても十分避難できると思われる。町は公民館の機能充実についてどのように考えているのか。	身近な場所に歩いて避難できることが発災初期には最も重要であると認識していますので、本計画において、地区公民館を「指定避難所以外の避難可能な施設」として位置づけ、身近な避難所として利用できるよう、地域の実状に応じて、防災機能強化の支援をする必要があると考えています。	①
6	避難者が一斉に同じところに避難すると避難所がすぐに埋まってしまい、避難所から遠い地区からは避難できないのでは。熊本地震の時には避難できずに帰ってきた人もいます。防災拠点を作るのはいいが、公園や地区公民館等を活用して避難できずに漏れてしまった人を補完するような整備は考えられないか。		①
7	避難所が指定されていても、遠かったり、線路を越えなければならなかったりして、たどり着くのが困難。近くの国道沿いや県道沿いに避難所があるとよい。		①
8	車中泊避難は、夏はいいとしても冬の場合はエンジンがかかりっぱなしで燃料の減りが大きく、排気ガス中毒になることが懸念される。最低でも 1,000 人程度が避難できる施設を 3 か所程度作ってほしい。		①
9	被災後、一部損壊したまま公民館を使用し続けているので、建替えたいと考えている。町の補助金はバリアフリーを含めて上限 600 万円だが、耐震構造にすることで補助金が増えるような考えはあるのか。		①
10	既存の部落は高齢者が多く、後継者もいない地域であり、避難所も老朽化していて不安を感じる。台風の際にも避難所となるような地区公民館の建替えを早くできるように方策を立ててほしい。		①

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
11	高齢者をおぶって避難した人などを優先的に避難所として受けられるようにするなどきめ細かい対応を考えるべき。	避難所とは、災害発生時に、主に住家が住めない状況になった被災者や、災害時においては特に支援が必要な被災者に一定期間生活していただく施設です。 避難所の運営の在り方については、継続的に検討する必要があると考えています。	⑤
12	西部地区は人口に対して避難所の収容人員が5,000人ほど足りないようだが、避難所の収容人員はどの建物を対象にしているのか。	避難所の収容人員は指定避難所における収容人員を対象にしています。	③
13	雨が降った場合は、大規模な屋内避難所が必要と考えられる。民間の商業施設や会社等に協力いただけるよう一緒に提案してほしいか。	現在、民間企業とは、ご理解をいただいたところから、災害時における物資の供給や駐車場の提供などを内容とした協定を締結しており、地域防災計画の中でも重要な位置づけとなっています。 各地区が主体的に身近な事業者との協定締結を検討される場合は、町も協力いたします。	④
14	公民館を避難所として整備するという話があったが、武蔵ヶ丘2町内の「集会所」も公民館と同じように避難所として扱って頂けるのか。	武蔵ヶ丘団地の集会所は県有財産のため、建物そのものの取り扱いについては、県との協議が必要です。 なお、大規模災害の発生時には、他の地区公民館と同じく、身近な避難所として利用されるものと考えています。	③
15	ふれあいの森研修センターに多くの方が避難されてきたが、菊陽北小学校区外、あるいは菊陽町外からも避難者はどのくらいいたのかデータはあるのか。	避難者の名簿は記録していますが、その多くは菊陽北小学校区にお住まいの方々でした。中には、校区外の方の避難もありました。	③
16	南部町民センター前の駐車場が分散しているうえに狭い。駐車スペースを確保すれば平時や緊急時を問わずいろんな形で役立つと思う。	避難所となった南部町民センターの駐車場が狭い件は、町としても認識しており、引き続き検討します。	⑤
17	避難所まで遠い方や要配慮者の方は、車で避難せざるを得ない。車の駐車場が不足しているため、民間施設と協定を結んで、駐車場を確保して欲しい。	現在、民間企業とは、ご理解をいただいたところから、災害時における物資の供給や駐車場の提供などを内容とした協定を締結しており、地域防災計画の中でも重要な位置づけとなっています。	④
18	平和会館等の民間企業と協力して地域避難拠点形成するべきだと思われる。	なお、創価学会熊本平和会館とは、現在、協定の締結について協議中です。	④

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
19	<p>保育園が民営化していく中で、みどり保育園は町立保育園として残っていくようだが、建物の改築等の予定はあるのか、防災は喫緊の課題であるため、今後、指定避難所のように使えれば、災害があった場合に、子どもたちはそのまま安全に避難でき、共働きの親は安心できると思われる。</p>	<p>現在の保育所は、確かに耐震基準を満たしていますが、保育所は0歳児から受け入れており、保護者の送迎もある中、災害の際に一度に多数の人が集中するのは好ましくないと考えています。</p> <p>また、共働き世帯も増え、保護者が災害後に勤務先で果たす役割も考えられることから、災害後の保育所の受け入れ態勢についても今後検討する必要があり、現時点では、避難所として使用することは考えていません。</p>	⑤
<p>●防災公園（広場）の整備</p> <p>●公園の防災機能の整備</p>			
20	<p>西部地区は、いざというときの避難場所が少ないということを知り、多目的広場のような防災公園（広場）は重要と感じた。是非、一日も早くできるようお願いしたい。</p>	<p>防災公園（広場）の詳細な整備内容については、今後、設計を行う中で検討していきます。</p> <p>現時点では、水が足りないとの声が多くあったことから、水を確保する耐震性貯水槽をはじめ、避難所として使えるような管理棟及び備蓄倉庫、トイレ、自衛隊等の救援部隊の活動拠点などを想定し、また、仮設住宅用のスペースも確保する必要があると考えています。ただし、災害時にはこれらの機能が同時期に必要とされるものではなく、時間の流れに応じて使い方が変わりますので、広場全体を整備するものではありません。</p> <p>なお、ご指摘のように、平常時の利用についても十分考慮したものとさせていただきます。</p>	②
21	<p>被災当時、光の森町民センターに避難した際に混雑していて、椅子の上に2泊した人もいたと聞いている。今回の整備で防災公園にどんな施設ができるのか詳しく教えて欲しい。</p>	<p>光の森多目的広場の防災公園（広場）については、平時利用の視点でも検討を進めて欲しい。</p>	③
22	<p>光の森多目的広場の整備については、平時利用の視点でも検討を進めて欲しい。</p>	<p>光の森多目的広場の防災公園（広場）中に、管理棟の整備を予定していますが、光の森の町民の皆さんが活用できるような、会議が開ける施設についても検討していきます。</p>	①
23	<p>光の森は歴史の浅い地区であり、経験やコミュニティの不足により、災害時の協力体制が築きにくいと思うので、コミュニティ活動支援のような点にも目を向けて欲しい。多目的広場のような広い広場があれば、いろいろな避難訓練にも利用でき、地域コミュニティの活性化にも繋がるのでは。</p>	<p>コミュニティ活動の拠点となる公民館や交流館が光の森1～5町内にないことから、災害を踏まえて前向きな検討をお願いしたい。</p>	①
24	<p>コミュニティ活動の拠点となる公民館や交流館が光の森1～5町内にないことから、災害を踏まえて前向きな検討をお願いしたい。</p>		②

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
25	<p>光の森多目的広場の防災公園整備については、西部地区の住民が一斉に避難したら特に車の出入りで混雑すると思われる。</p> <p>西部町民センター前の農地（約 13ha）を防災広場等に転用することを将来的な検討項目に入れて欲しい。</p>	<p>役場に準ずる公的施設である西部支所を持っていることから、光の森町民センターは西部地区の避難拠点であると考えています。本計画においては、先の熊本地震での避難所運営の経験を踏まえ、（仮称）光の森多目的広場の防災機能を強化することにより、更なる災害対応の充実を図りたいと考えています。</p> <p>なお、後段については、ご意見として承ります。</p>	⑤
26	<p>光の森多目的広場と同様に、ほか 5 か所の公園も同様に整備していくということか。</p>	<p>「鼻ぐり井手公園」、「ふれあいの森公園」、「杉並木公園」、「町民グラウンド」、「菊陽第二土地区画整理による 1 号近隣公園」の 5 か所についても、光の森多目的広場と同様に、地域の避難拠点として地域の必要に応じた防災機能の整備を予定しています。</p> <p>その他の公園についても、検討いたします。</p>	③
27	<p>比較的規模の大きい公園に防災設備を整備することだが、小さな公園にも防災設備を設置してもいいのでは。</p>	<p>光の森地区は人口が集中している地域なので、渋滞は発生していることは事実ですが、当時、混乱があったような報告は受けていません。</p> <p>また、アンケート調査からは、西部地域の住民は徒歩での避難が多かったようですが、災害時の避難の基本は徒歩ですので、今後もその啓発を進めていきます。</p>	②
28	<p>光の森多目的広場の防災公園（広場）はどのような状況か。避難したときには周辺に車が一斉に押し寄せたとき、誘導できるような道路なのか。</p>	<p>光の森地区に限らず、菊陽町全体として、ガソリンスタンドが不足しているような地域ではありません。ただし、給油のために並ばざるを得ない状況は出てくると考えていますので、今後計画を策定する上でのご意見として承ります。</p>	③
29	<p>車での一斉避難により、給油できる設備が必要になると思うが、町はどう考えているのか。</p>	<p>光の森地区に限らず、菊陽町全体として、ガソリンスタンドが不足しているような地域ではありません。ただし、給油のために並ばざるを得ない状況は出てくると考えていますので、今後計画を策定する上でのご意見として承ります。</p>	⑤
30	<p>防災公園の活用について、熊本市や大津町等の他市町村からの避難者の受け入れを行うのか。</p>	<p>最近、災害が広範囲に亘っており、人の避難形態も広域化しています。災害があった際は、きちんと受け入れ被災者に対する支援をしっかりと行っていきたいと考えています。</p>	③

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
3. 復興から更なる発展に向けた、安全・安心な都市基盤施設の強化			
●災害時において輸送路となる基幹道路の整備（道路網の整備）			
31	災害時にみんなが車で避難しようとした場合、渋滞の発生や停車している車が原因で緊急輸送車両の通行が妨害されてしまう可能性がある。災害時に重要な道路を一方通行にするようなことは考えているか。	『地域防災計画』において大規模災害が起きた際、確実に優先車両の通行を確保するため、国道や県道を中心に「緊急輸送路」というものを指定しています。これは、優先通行許可書を発行し、通行できる車両を制限することが可能な制度なので、状況に応じてこの制度を活用していきたいと考えています。	③
32	菊陽空港線は片側 2 車線の 4 車線になっているが、整備内容は第一空港線を 4 車線にするということか。	菊陽空港線の延伸は、第一空港線から北に向かい、町役場の横を通過して JR 原水駅西側の旧国道 57 号線までで整備が止まっている道路をさらに北側へ延伸しようとする計画です。	③
33	菊陽空港線の延伸と北熊本駐屯地の関係性がよくわからない。北熊本駐屯地とは阿蘇くまもと空港にある自衛隊のことか。	西部地区道路構想は武蔵ヶ丘小学校付近から西へ向かい、陸上自衛隊北熊本駐屯地の動線確保及び西部域の生活道路の利便性の向上を目的に、西部地域の防災機能の強化を図る予定です。	③
34	消防車が入れないくらい狭い道が多くあります。長期的に見ても消防車が入るということを考えないと、奥まったところで火災が発生したときに消火活動に支障が出ると思われる。	長期的な視野に立って検討していかねばならないと考えています。一部の地区については、事業化に向け測量を開始しているところもあり、今後も地権者の方々にご協力いただきながら、狭あい道路の改修に努めていきたいと考えています。	④
●災害ごみ仮置場の検討・整備			
	—	—	—
●下水道施設の災害対策強化			
	—	—	—
●（仮称）北部町民センターの整備検討			
35	ふれあいの森研修センターは避難所に指定されているが、上り坂があるので車で来るしかなく、お年寄りを連れて避難するのは困難。（仮称）北部町民センターの整備計画があるが、いつごろ整備されるのか。徒歩でも行けるようなアクセス性のいい平地をお願いしたい。	ふれあいの森研修センターが坂の上に位置することや、熊本地震の際には避難者が集中したことから、特に要配慮者の方にはご不便をおかけした点は承知しております。 これを踏まえ、（仮称）北部町民センターの整備については、整備時期や位置、規模等について今後検討していきます。	②
●「総合交流ターミナルさんふれあ」の改修			
	—	—	—

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
4. 住民による地域防災力の向上			
●自主防災組織の立ち上げ活動に対する支援			
36	防災士の活用方法について、町としてはどのように考えてますか。	防災士は、NPO法人日本防災士機構が認証する資格です。養成講座や救急救命の実技講習、試験を受けて合格し、同機構に登録して防災士になります。	③
37	防災士の登録者を増やすという計画について、防災士がどのような資格か教えて欲しい。	各地区の自主防災組織や防災訓練などでの活躍を期待するとともに、町では、「防災士連絡協議会」の立ち上げやその活動の支援を行っていきます。	③
38	自主防災組織のソフト事業について、教えて欲しい。		③
39	年に1回避難訓練を行っているが、消火栓を使ったことがなく、使い方がわからない。避難訓練で消火栓を使用してもよいのか。また、消火栓の使い方は教えてもらえるのか。	使い方については避難訓練の時などに消防署や消防団の指導を受けるのがよいと思われます。その際は、町の防災担当にご一報ください。	①
40	自分の命は自分で守るべきだし、災害時には多少の我慢も必要。アンケート調査には、プライバシーに関することや、シャワー、トイレ等、必要と思われる項目が出ているが、防災グッズ（食料3日分や電池等）を準備しているのかなどの項目がない。地震があったら何かを作るという視点だけではなく、個人がすべきことも考えてほしい。	アンケート調査では、復興に向けて自助・共助・公助のうち、公助の部分で何ができるのかというのを意識して作成しました。自助や共助についても町民の意識を高めてもらえるような設問（問16・17）として、「熊本地震を経験して、あなたの今後の防災や減災に対する取組みについて」という意識の変化に関する質問をしていますので、集計結果を今後のソフト施策にも活かしていきたいと考えています。	③
41	高齢化率が高い地域では、自主防災組織に青年層がおらず実際稼働しているのは、60歳以上がほとんどです。高齢者だけで活動していくのは難しいため、具体的に地域別に組織の問題を捉える必要がある。	校区毎に人口構成や特性、課題が異なることから、校区別防災計画を作成し、地域の防災力の向上を図りたいと考えています。	④
●コミュニティの醸成			
42	防災無線の聞こえにくい地域についての対応はありますか。防災訓練では携帯メガホンを持った人を派遣して行っているが、将来的には聞こえるようにして貰えるのか。場合によっては、補正予算で緊急的に整備するべきではないか。	防災無線の聞こえない箇所について、聞こえにくい箇所を把握し、向きを変えたり増設したりするなどの対応を行い、特に緊急性を有する場合には補正予算での対応も検討いたします。 なお、既にご要望をいただいた箇所については、予算確保を行っており、現在準備を進めております。	①
43	防災無線が聞こえにくく、今年の春に防災無線増設の申請をしたが、町役場からは未だに回答さえも貰えていないので、早急に対応して欲しい。		④

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
44	阿蘇市ではアパートも含めた各戸に防災無線が配布されているが、菊陽町でも同様の取組み計画はあるのか。	現在、戸別受信機は、自治会長をはじめ、民生委員や消防団等早急に災害応急活動が必要な方に貸与しています。 本町においては防災行政無線を全町域に配備していること、及び予算や貸与した機器の管理の在り方などから、各世帯への戸別受信機の貸与については慎重な検討が必要であると考えているところです。	③
●ボランティア活動の支援			
	—	—	—
●防災意識の啓発			
	—	—	—
5. そのほかのご意見・ご要望			
45	アンケートの回収率は33%だが、33%の意見を住民の代表意見として取扱ってよいのか。アンケート調査の妥当性や判断基準を教えてください。	6月に実施したアンケート調査の回収率は33%でありましたが、これだけを基に計画を作っているものではありません。昨年度、復興計画を立てる際に行った座談会や委員会、パブリックコメント等のご意見や各校区の役員の方々とのワークショップ、今回も復興まちづくり計画策定のため委員会を設けており、様々な方法で皆様の意見を集約しています。	③
46	校区別に丁寧に懇談会を開催されているが関係者ばかりが多く住民が数名しかいない。丁寧に説明したということで終わってもらっては困る。町民に理解を得られたということにならないと、校区別にやる意義が少ない。周知方法や手法について町が努力してほしい。	町民のみなさんに参加してもらうのは非常に難しいところではありますが、できるだけ多くの方に参加してほしいと思っています。	③
47	防災グッズを配るなどすると、参加者が増えるのではないのでしょうか		⑤
48	資料については事前に公開するか、公開した旨を周知すべきではないのでしょうか。		⑤
49	武蔵ヶ丘東公園にはたくさんの避難者が集まった上に車中泊避難もいた。近くの武蔵ヶ丘第二保育園が廃止予定とのことで、高齢者の多い地域なので、高齢者に関する施設を将来的に作って欲しい。	武蔵ヶ丘第2保育園の跡地活用については、平成29年度以降に「武蔵ヶ丘第二保育園園舎等活用検討委員会（仮称）」を設置し検討を行います。	⑤
50	高齢化率の高い地区では、車を運転できない人も増えてきているので、キャロッピー号の路線再編の際には、西部線を役場まで延伸して欲しい。	キャロッピー号の路線再編を検討する際には、各地域の現状を踏まえて検討していきます。	⑤

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
51	避難所や公園といろいろ整備する計画があり、5年間で事業完了を目指すと記載されているが、事業費や予算についてはどのように検討されているか。	<p>本計画に掲げた事業のうち、中には終わらないものも出てくる可能性があります。5年間という目標で整備していきます。</p> <p>予算については、町の財源も限られているので、特に防災公園や災害対策本部の整備のような大規模事業については、国（国土交通省）の補助金を活用して予算を確保するよう努めます。</p> <p>補助金の対象にならないような事業については、町の単独費での整備となりますが、できる限り国や県に支援の要望を行いながら予算の確保に努めます。</p>	③
52	防災というと地震に限らず風水害や火災もある。白川沿いの上流は護岸整備がされているが、上津久礼や下津久礼の被害を受けやすい箇所では黒い土俵をつけて応急工事をしている。この土俵も過去に4回程度着け直し、今後の水害については行政の責任だと思われる。地元からは要望を出していますが、菊陽町の川の改修は周辺地域と比べて遅れているのではないか。	<p>熊本地震以降、阿蘇からの土砂が流れやすくなっているため、国、県から早めに警報がでており、町としても早めに皆様に注意喚起をしている状況です。避難場所は一番近い公民館としていますが、雨が多く降ったり、白川が危険な状態になった場合には、ほかの避難所に避難することとなるので、早期に避難勧告を発令するよう努めています。</p> <p>また、白川の改修と立野ダムの早期完成に向けては、熊本市、菊陽町、大津町、南阿蘇村と共同で要望活動を行っています。</p> <p>白川改修のうち、熊本市側は国交省が整備しており整備率も高い一方、菊陽町から大津町にかけては、熊本県による整備となっています。立野ダムが完成し白川の整備が完了すると菊陽町は水害から守られるといわれていますが、早期に整備してもらうことが大事と考えていますので、県や国交省に対しさらに要望活動を行っていきます。</p>	④
53	土砂警戒区域に指定されている地区では、今回の地震被害も大きく、近年、豪雨なども多いことから土砂崩れなどの不安がある。町でも何らかの対策をして欲しい。	<p>立野ダムが完成し白川の整備が完了すると菊陽町は水害から守られるといわれていますが、早期に整備してもらうことが大事と考えていますので、県や国交省に対しさらに要望活動を行っていきます。</p>	④
54	今回は幸いにして火災が発生しなかったが、仮に大規模火災が発生したときの体制が気がかりだ。火災が発生した際の周辺自治体との連携や体制についてはどのようにしているか。	<p>菊陽町では、菊池広域連合（菊池市・合志市・大津町・菊陽町）の消防本部の管轄となっており、空白地はありません。また、熊本県内の広域消防とも協定を結んでおり、応援が来ることになっています。</p>	④

No.	ご意見の概要	町の考え方	対応
55	被災前は防火用水が3か所あったが、被災後1か所が壊れてしまって使えない状態になっている。今度、大規模なものに更新する予定になっているが、候補地がなかなか見つからず、あったとしても道が狭くて防火用水槽を運搬できない。災害はいつくるかわからないので、早めに対応して欲しい。	狭い道の解消も踏まえて検討しなければならぬため、長期的な視野に立って検討していかなければならないと考えています。今後担当者と地域で協議を進めていき、解決していきたいと考えています。	⑤
56	震災後、近隣の温浴施設や銭湯が無料になった。民間施設が無料開放されたのに、さんふれあの温浴施設が無料開放にならなかったのはなぜか。理由を教えてください。	熊本市内で温浴施設を無料開放した際、市内外から車が押し寄せ、道路が渋滞し、支援物資の輸送に支障が生じた例がありました。町内の道路混雑を避けるため、温浴施設は有料のままとしました。ただし、光の森多目的広場では陸上自衛隊と海上自衛隊による臨時の入浴施設を設置してもらい、無料で利用してもらいました。	⑤
57	防災公園（広場）の整備について、災害の際、菊陽町だけでなく、町外からも避難してくるのであれば、補助金などにより町の負担が減るのでは。	国の補助制度として、国の方から1/2補助金が出ることになっています。残りの1/2は起債し、地方債として世代間の公平な負担を考えています。地方債の一部についても国からの支援が入ってくることとなり、町の負担を軽減するよう様々な制度を活用して整備していきたいと考えています。	⑤
58	農業関係の復興の話がないが、どのように考えているのか。	本計画は、国土交通省の補助事業を意識した計画として策定しています。農業関係については、本計画の上位計画である「菊陽町熊本地震復旧・復興計画」で「地域産業の復旧・復興」の項目で位置づけており、しっかりと取り組んでまいります。	⑤